

研究部だより

秋田県立栗田支援学校

研究部 第6号

令和6年9月2日発行

先日は、高等部全校授業研究会に向けた事前検討会へのご協力ありがとうございました。検討会では、多数のご意見をいただきました。提示授業の概要と検討会でいただいたご意見、助言内容の一部を紹介します。

単元名	高等部普通科 チャレンジ・チームワーク・チェンジ② ～栗田祝い太鼓編～
単元設定について	<ul style="list-style-type: none">・学年合同で行う生活単元学習では、チャレンジ・チームワーク・チェンジを合言葉にして、活動に目的意識をもち、学年集団が協力して、目標の達成に向けた課題の解決を図ることを主なねらいとしている。・本単元は、チャレンジ・チームワーク・チェンジ②として、栗田祝い太鼓を取り上げる。栗田祝い太鼓の歴史や、太鼓に関わった人の思いを知ること、栗田祭で演奏すること、自分たちが知った思いや、感じたことを後輩たちへ伝えることを通して、他者と関わろうとする態度、自分の気持ちや考えを伝えようとする態度を育てていきたい。

<協議内容>

- ・いろいろな人と関わる場面を設定するための工夫について
(学年・学部を超えた関わり、地域との関わりなど)
- ・生徒の気付きや学びを表現するためにできる手立てや環境設定の工夫について

<グループからのアイデア>

- ・学級単位で授業を行うことも効果的だが、グルーピングを工夫してはどうか。
- ・10月は、仲間と演奏を成功させたいという方に集中させた方がよいのではないか。
- ・栗田祝い太鼓の魅力を感じたり、3年生が演奏する意味を理解したりする機会が必要ではないか。
- ・身近な人へ、太鼓について紹介することから始めてはどうか。
- ・他学部への紹介は、栗田祭の演奏を聞いてもらってからでもよいのではないか。

<助言>

－自立活動アドバイザーより－

- ・栗田祝い太鼓の魅力をどう伝えていくのか、どのように伝統を学び、伝えていくのかを明確にしてほしい。
- ・関わる相手によって準備の仕方が変わってくる。相手を意識した準備ができるような工夫も必要。
- ・対話を通してイメージを共有することで、自分のイメージが鮮明になることもある。対話をしやすい環境設定を大切にしてほしい。
- ・対話を通して鮮明になった自分の考えやイメージを言葉に残していく機会を大切にしてほしい。

<助言を受けて>

- ・太鼓の魅力や歴史、太鼓に関わる人の思いについて知る機会を設定する。(インタビュー、資料を見直すなど)
- ・ねらいや学習活動によって、適切なグルーピングを考えていく。
- ・自分たちで太鼓について知り、演奏した上で、紹介する機会を設定する。 など